



東北に春を告げるまち

福島12市町村の将来像に関する
有識者検討会（第1回）資料

平成26年12月23日
福島県双葉郡広野町

◆ 広野町の位置と概況

- ・ 位置
- ・ 東京都心から 238 km、宮城県 仙台市から 128 km
- ・ 福島県浜通り地方の中部、双葉郡の最も南端に位置し、東に太平洋を臨み、西に阿武隈産山系、南はいわき市と北は楡葉町と隣接
- ・ 東西13km、南北7kmの東西に長い町域
- ・ 総面積 58.39km²



- ・ 人口と世帯数
- ・ 人口 : 5,490人 (平成23年3月11日時点)
- ・ 世帯数 : 1,989世帯 (平成23年3月11日時点)

◆復興計画（第二次）基本方針 〈平成26年3月31日〉

- 基本方針 1 誰もが安心して暮らせるまちづくり
- 基本方針 2 災害に強い都市基盤と心のネットワークによる安全・安心なまちづくり
- 基本方針 3 21世紀の世界を担う新たな産業創出による賑わいのあるまちづくり
- 基本方針 4 双葉地域の復興を担うまちづくり

◆ 帰町等の状況 (1/2)

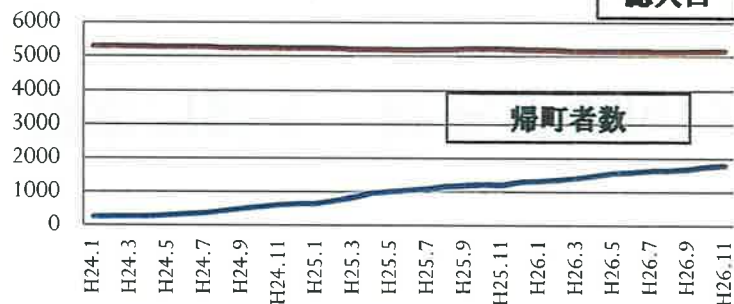
〈平成26年11月末現在〉

・ 全体・宿泊者

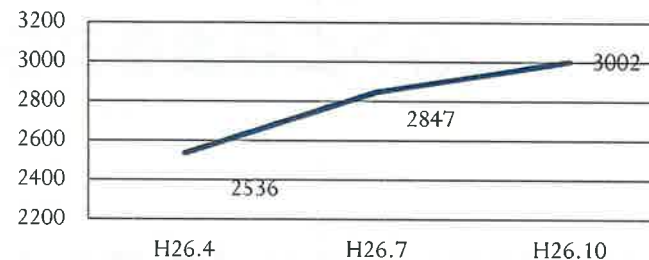
帰町者数の推移



総人口の推移



町内に宿泊している
作業員数の推移

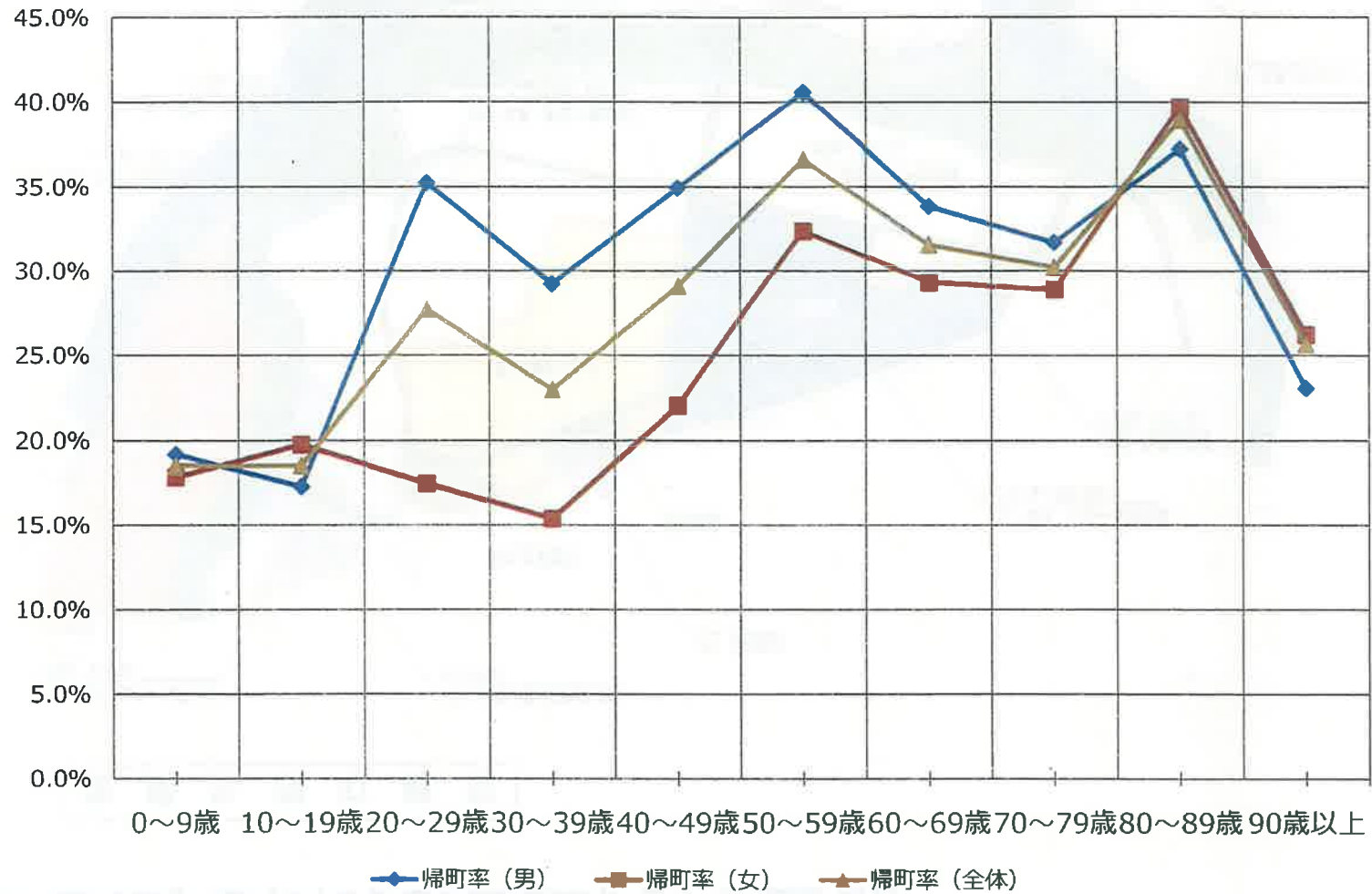


・ 明かり調査等により、帰町実態は5割と推計。

◆ 帰町等の状況 (2/2)

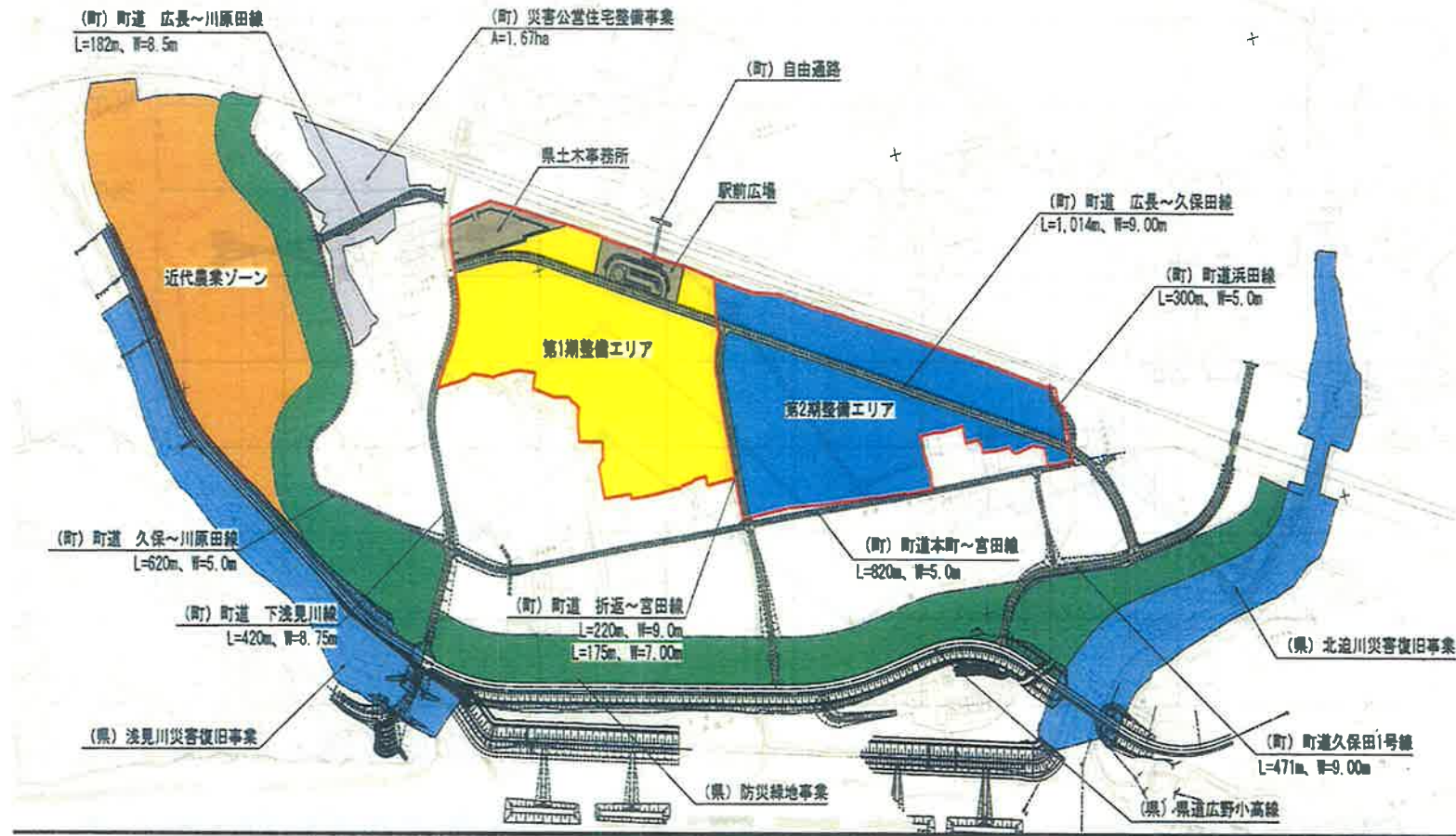
〈平成26年4月末現在〉

年代別・男女別の帰町率



◆ 広野駅東側地区開発整備

復興計画位置図



◆国際シンポジウム

〈平成26年6月15日〉

『広野』からのメッセージ

この度、私たちは広野町に集い、平成23年3月11日の東日本大震災とそれに引き続く東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難を余儀なくされた人たちが、広野町への帰郷を自ら選択されるような“幸せな帰郷”を実現するために、何が求められるのかを内外の専門家たちと一緒に考えました。

その上で、私たちは次のような共通の理解に達しました。

1. 昨日（6月14日）、高久仮設住宅、常磐迎仮設住宅の集会所で避難者との対話集会を開催し、次のことが最も重要であると学びました。家族の中で意見を交わす、町民同士が素直に話をする、町民と行政が本音で話をする。
2. 本日のパネル・ディスカッションを通じて、次のことが重要と学びました。
 - 1) あらゆるステーク・ホルダーがお互いに本音の声を交換できる場をつくること。
 - 2) 時間をかけ、市民が主体的に関わるなかで事業などを進めること。
3. この度、世界の避難者や難民の実態を具体的に聞き、あらためてその多様な掘り出しを学びました。一つ一つの事例ごとに、異なる課題を抱えているように見えるものの、その根底には、例えば世代間の対話の重要性など、共通する要素も数多くあると受け止めました。このため、今後ともこのようなシンポジウムを繰り返し広野町で開催することは、単にFUKUSHIMA（福島原発事故の被災地）のためだけでなく、世界の避難者の問題に取り組むうえで大きく貢献できることを知りました。
4. “幸せな帰郷”と復興を図るためには、子育て世代の視点を取り入れていくことが極めて重要と改めて学びました。そして、その実現には、「子育て世代の女性」が、主体的に参画し、活発に活動されることが肝要であり、また、それを可能にする環境を整えることの重要性を知りました。今後はその実現に向けてより一層の努力をいたします。
5. この度のシンポジウムの開催を機に、広野町が内外の知の交流の場となるように、文化豊かで感性に溢れた町づくりを目指し、広野町のみならずFUKUSHIMA（福島原発事故の被災地）全体の復興に向け、世界の英知を結集できるように全力をつくします。

私たちは、本日のシンポジウムで得られた結果を踏まえ、それぞれが自分で出来ることについては、その実現を目指して取り組んでいくことといたします。

また、この国際シンポジウムでは、世界の多様な事例を学びあうことが極めて有意義であることを学びました。このため、この広野町に集った私たちは、本日の国際シンポジウムを踏まえ、さらに発展させるべく、出来る限りの努力を続けます。

◆主な施策 (1/2)

1 除染対策

- ・「広野町除染等に関する検証委員会」における検証

2 放射線対策

- ・広野町放射線相談室の設置

3 安全・安心の確保

- ・「広野町安心・安全ネットワーク会議」の設置
- ・「見守りカメラ」の設置

4 医療体制の充実

- ・県並びにいわき市等との連携強化

◆主な施策 (2/2)

5 農業の振興

- ・ほ場整備事業の実施
- ・後継者育成の取組

6 商業施設の充実

- ・新たな商業施設の整備

7 雇用の創出

- ・広野駅東側開発地区や工業団地への新しい産業・新規企業誘致の取組

8 防災拠点の整備

- ・“防災拠点道の駅ひろの”（仮称）の整備検討

◆ “幸せな帰町・復興” へのメッセージ

新年を4度目迎えるにあたり、町の方向性と主な施策に触れ、ふる里広野の将来に対する思いを発信。

全町民の皆様

幸せな帰町・復興に向け

ふる里にて共に歩みたいと願っております。